



連結業績ハイライト

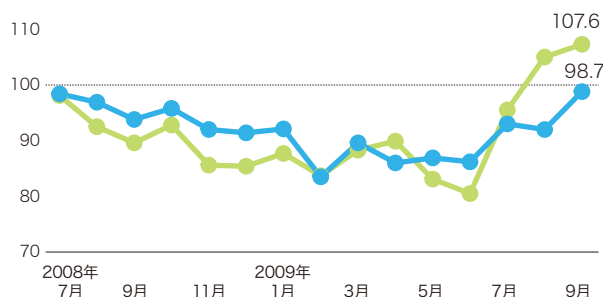
第2四半期累計(2009年4月1日～2009年9月30日)

- 世界同時不況と新型インフルエンザ流行の影響で航空需要は大きく落ち込み、営業収入は6,118億円(前年同期比81.2%)に減少しました。
- 「緊急対策プラン」と「緊急収支改善策」を着実に実行していますが、大幅な減収をカバーするには至らず、営業損失282億円、経常損失415億円、当第2四半期純損失253億円となりました。

旅客数の伸び率の推移(前年同月比較)

単位: %

国際線旅客数は8月以降、前年同月を上回っています。



経営成績

単位: 億円

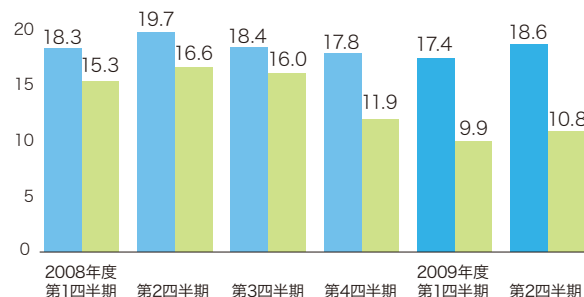
	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減	前年同期比 (%)
営業収入	7,533	6,118	△1,415	81.2
営業費用	7,034	6,400	△634	91.0
営業利益又は損失(△)	498	△282	△781	—
営業外損益	△103	△132	△29	—
経常利益又は損失(△)	395	△415	△810	—
特別損益	△8	0	8	—
四半期純利益又は純損失(△)	220	△253	△474	—
EBITDA※	1,051	274	△776	26.1

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

旅客キロ当たり運賃収入※の推移

単位: 円 / 旅客キロ

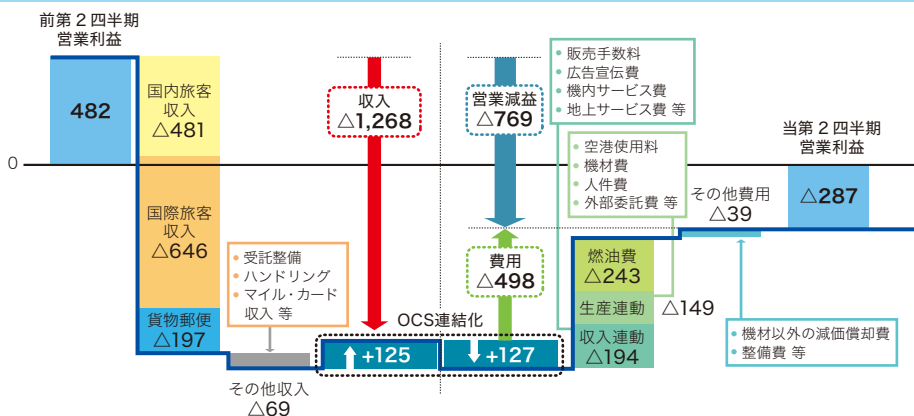
国際線の旅客キロ当たり運賃収入は、ビジネス需要の回復の遅れ、旅行者の低価格志向、燃油サーチャージの廃止などで大きく低下しています。



※ 旅客キロ当たり運賃収入 = 旅客収入 ÷ (旅客数 × 運航距離(キロメートル))

前第2四半期と当第2四半期の航空運送事業収支の変動要因(6カ月累計比較)

単位: 億円



当第2四半期の航空運送事業は、前年同期より1,268億円の減収となりましたが、費用が498億円減少したため、769億円の営業減益となりました。

なお、当期より海外新聞普及株式会社(OCS)が連結対象に加わり、営業収入が125億円、営業費用が127億円それぞれ増加したため、実質的費用削減効果は625億円となりました。